

◆2022年 第2週(1月10日~16日)

今週は3連休明けとなり実質4日間だ。4日のうち1日は千客万来のうえ、外出の3日間は講演や研修講師のため、慌ただしい1週間となる。

火曜日(11日)に来社されたA社社長は自身の引退と共に、M&Aによる事業継承が最も自社や社員の未来につながる引継ぎになるとの判断である。

そのため、社長引退後の人生設計をどのように考えていくかについて、幾つかの考え方の方向性をサゼッションすることになった。

A社長とは30年近いお付き合いがある。企業は継続こそが宿命であり、その基盤は「何の為に」という明確な社会性のある目的が必要であること、自社の適正規模を社長が常に意識していること、この2点を設立間もない時に塩見から聞き、30年間常にこの2点を意識して経営をしてきたとのことだ。まさに感無量である。コンサルという仕事のやりがいを実感した思いでもある。

水曜(12日)、木曜(13日)はお客様企業での社員研修だ。

前者は二代目社長が10年後の自社をどう表現していくかをスタッフ全員で考えてもらいたいという思いから、「なぜ自社の歴史と未来をスタッフ全員に見せることが重要なのか」を講義することとした。

また、後者は「新しい分野の市場開拓としてどのようなビジネスモデルを組み立てていくか」を、様々な視点から従来に無い発想の取り込み方について解説した。ビジネスモデルを考えるためのマトリクスを基盤にしてブルーオーシャン戦略の考え方などを取り入れたディスカッションなどを行うこととしたのだ。

金曜(14日)は20年来、毎年依頼を受けている公益社団法人主催の講演会である。講演会というより朝10時から夕方5時までみっちりの日講義だ。

コロナ対策を万全にして、通常300人ほどの会場を100人以内に制限して行われた。午後、受講者の一人からチョコレート差し入れを頂いた。直接受け取れていないため理由は不明だったが、受け取った主催者からの伝言は、「愉しくて為になる講義で大変豊かな時間をいただいたことのお礼」とのことだった。バレンタイン前に嬉しいことである。

1日6時間立って話をしているのはさすがに疲れる年齢になった。控室で担当者らと頂くこととした。感謝感激である。

面白く 生きているなあ 梅一輪 ④

